

Face to Face

No.54
2019年6月



心臓手術で命を救え！手術環境を整え、現地医師が命をつなぐ
ザンビア心臓血管外科技術移転事業
ザンビア大学付属教育病院 University Teaching Hospital



心臓血管外科チーム育成中

さくら診療所 心臓血管外科医 松村 武史

2019年5月29日からザンビアの首都ルサカにあるザンビア大学付属教育病院(UTH)において第5回の活動を行っています。3週間の滞在のうち2例の手術を行う予定です。

今回、医師2名、看護師2名、臨床工学士1名で渡航しました。TICOが渡航に必要な経費は負担しますが、全員、有給休暇等を利用してのボランティアで参加くださっています。患者を元気にすることが第一目標ですが、心臓手術をUTH心臓血管外科チーム主導で行えるようにシフトすることが重要と考えています。

患者選定スキルが身に付く様に診断の段階から一緒に取り組んでいます。渡航前に選定患者情報のやり取りをして十分に備えましたが、渡航直前に変更

になったり、予定していた患者を検査すると手術非適応だったり、症例変更を余儀なくされることがありました。今回、UTHの小児科医や循環器内科との連携体制もつくりました。

国際協力の現場で頻繁におこる‘人材問題’にもぶつかりました。活動を強くサポートしてくれたUTH成人病院の院長、副院長が代わり、心臓血管外科チームのリーダーであったZiwa先生がイスラエル留学、体外循環士のフェリックスが国内留学、手術室看護師のレベッカも試験中と主要人物が3人も抜けました。幸い新しい院長や副院長も変わらずサポートを続けてくださるとのこと、残りのメンバーも頑張ってくれ、フェリックスとレベッカは手術日には参加することになり、体制を保つことができました。国際協力には文化や感覚の違いによる困難が付きものですが、乗り越えていきたいと思います。

活動をブログやFacebookで報告しています。どうぞよろしくお願いいたします。

四国こどもとおとなの医療センター
小児心臓血管外科医 江川 善康

ザンビアに来て 4 回目にやっと南十字星を見ることが出来た。

今回、術前に心臓カテーテルの必要性を感じ、カテーテル検査を行おうとカテーテル類を持参した。しかし、日本から提供されたシネアンギオ装置がネズミにかじられたため使用不能となっていた。

また、予定していた患者は変更となった。私は体調不良が続いていたので体力的に助かった。担当は腹部大動脈瘤と 20 歳の心房中隔欠損症のみの手術となった。私は、第 1 助手となつて心房中隔欠損症の手術を手伝ったが手術時間は前回よりも長時間を要した。執刀者にもよるが、人を教育するのは難しく時間が必要なことを感じた。



右側:江川医師
- 手術の準備 - 左から 2 番目:松村医師
左から 3 番目:山崎看護師

開発途上国での医療活動について

看護師 鮫島 早苗

今回初めて看護師として TICO の活動に参加させて頂いた。以前、モンゴルの病院で働いた経験も踏まえ、両国の医療や TICO の活動についての感想を述べる。

ザンビア、モンゴルともに開発途上国であり、比較的治安が良いことから、色々な国からの援助が入っている。両国ともに、医療機器や薬など、他の国からの援助もあるが、十分に揃っていない現状がある。その中で、TICO の活動は 3 週間。その間で今回は 2 件の手術を行った。まず 1 週目は手術を行う患者の選定から始まる。ザンビアに行く前から手術を予定していた患者リストはあったが、実際に現地入りすると、以前のリストにはない患者が手術候補に上がっている。そして、手術に必要な十分な準備が現地スタッフで行われていないため、まずそこから TICO スタッフが現地スタッフに指示を出し、手術に向けての準備、カンファレンスが行われる。そして、2 週目に手術を行う。執刀医、助手はザン

ビア医師、日本人医師は指導する立場ではあるが、今回の症例が難しい手術だったからか、日本人医師がほぼ指示を出し、執刀医のように見える。そして、その後は手術後の経過を観察するといった流れだ。

私はたった 3 週間の滞在のためザンビアの事は分からない部分も多いが、モンゴル、ザンビア両国ともに言えるのはこのような支援に慣れているということだ。両国の医療スタッフは「買ってくれるのが当たり前」「やってくれるのが当たり前」と言った悪しき習慣がある。TICO の活動は、そういった習慣を続けて行くのではなく、ザンビア人スタッフで心臓の手術前、手術、手術後が見られるように指導を行っている。今回 5 回目の TICO の活動で、現地スタッフのどのような成長があったのかは、初めて参加する私には分からないが、今後の活動でもザンビア人スタッフの技術・知識の発展の向上に役立っていくことを期待する。



- 手術前の診察 -



左から 2 番目、患者を気遣う鮫島看護師



- 手術前のカンファレンス -



2017年より、ザンビア人心臓血管外科チームの育成を目的としたTICO主導による国際医療支援活動に参加しています。

臨床工学技士としての活動の主な目的は心臓血管外科チームに必要なザンビア人体外循環士(Perfusionist)の人材育成であり、ザンビア大学付属教育病院と徳島赤十字病院でトレーニング

国際支援活動を通して感じた臨床工学分野の必要性 徳島赤十字病院 臨床工学士 北岡 豊永

グを行っています。

ザンビア国内の医療機関では医療機器を専門に扱うBioMedical Engineerが存在しますが、臨床において幅広く機器を扱う専門職は存在しません。よって、日本の臨床工学技士がおこなう代謝、呼吸、循環、医療機器管理業務に関する知識や技術がザンビアの医療全体において欠かせないことは、これまでの支援活動を通して日本側とザンビア側双方において強く認識できています。

ザンビア国内において今後、臨床工学技士に近い資格制度が整い、教育機関が創設され、先では多くの人材が輩出されることを期待しています。



Information

高松市（自治体）と連携して JICA 事業を実施します！

「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業」



JICA 草の根技術協力事業 地域活性化特別枠（平成29年度補正／平成30年度予算）で高松市とTICOが連携する事業が採択されました。これは、JICAが政府開発援助（ODA）の一環として行うもので、高松市が提案団体、TICOが実施団体として昨年JICAへ提案書を申請し、3月に採択の通知を受けました。JICAからの業務委託を受け、高松市と協力し



ながら2019年度から2022年度まで実施します。年度内にカンボジア政府と事業実施に関する合意文書を交わし、事業内容や予算を詰めた上でJICAとの契約を締結する予定で、これから水面下での準備に大忙しです。

カンボジア北西部、タイとの国境を有するバタンバン州での技術向上のための研修と、そこをモデル地区としながら、「ひとを育てる人」つまり指導者の育成とその認定のための試験内容をカンボジアの医師たちとともにつくっていくことを目指しています。

この準備に関わる渡航費などの経費は皆さまからのご寄付を活用させていただきます。契約締結後はJICA資金で事業運営を行いますが、契約内容以外の活動は引き続き自己資金で実施していきますので、応援お願いします！

ザンビア滞在記

コーディネーター 中村哲郎



一番左が中村さん、左から3番目が吉田代表

初めまして、中村哲郎と申します。5月よりボランティアとしてザンビアに2ヶ月の予定で滞在し、TICOの活動のお手伝いをさせて頂いております。

自己紹介

製薬業界でのべ32年間過ごし、国内外で営業、人事、広報など種々の職種を経験しました。たまたま企業の社会貢献活動を担当していた際に吉田先生にお会いしたことがご縁で、サラリーマン人生で培った知識やノウハウ・人脈を生かして今後の人生を過ごしたいという思いで本年3月に早期退職いたしました。

いざザンビアでの生活

現時点ではまだ滞在1ヶ月で、心臓血管外科手術技術移管プロジェクトや教育プロジェクト等を必死で手探りしながらお手伝いさせて頂いています。その中で気が付いた点としては・・・

社会の進むスピードが異なる・・・ そして皆我慢強い

日本では当たり前に進むことが、こちらではそうではないことに衝撃を受けました。多分日本のスピードの5-10倍はかかると思われます。待ち合わせの時間に来ないことは当たり前、それでもHow are you?と朗らかに待ち合わせ場所に登場する姿勢にまたびっくり。事務作業も処理スピードが遅く、さらに紙の書類が重視されますが良く無くされてしまうので、重要なものは必ずコピーか写メをとって万一の場合にもフォローできるようにしておかないと大変な目に遭います。

一方で道路やスーパーのレジで混雑しても、怒ることもなく皆我慢強く待っています。

急速な近代化、車の運転が皆上手?

近代的なショッピングモールが続々と作られてい

て、スーパーでは豊かな食材が販売され地元の人々が買い物をしています。ふくよかな方が多く、また車社会による運動不足とファーストフードなどの台頭で、生活習慣病が急増するであろうことが見て取れます。

ある面で車の運転が皆上手です。猛スピードで突進し、左右から現れるトラックやミニバスにもひるむことなく邁進します。自転車やバイクを使用する人は少なく、また横断歩道もほとんどなく道路整備も追いついていないので交通渋滞が大きな問題になってきています。ひとたび停車すると車をめがけて物売りが。携帯電話用の課金カード、食べ物や新聞、誰が買うのか不明なものまで幅広い商品群、物売りのたくましさには脱帽です。道路脇では野菜や果物、ブロックや家具などが綺麗に陳列されて販売。実はザンビア人はものを並べるのが得意?

中国の台頭、路上は日本車が席卷!

空港に降り立つとまず目に入るのは中国の銀行や建設会社の看板です。以前は世界中で日本企業の広告が見られたものですが、日本企業の影が薄くなったことを改めて実感します。一方で路上は中古の日本車が席卷、日本各地で使用されていた車両が使用されています。この日本車への絶大な信頼は、ものづくり王国としての生き残りのヒントがあるはず?

異文化の中で

日本とは異なるゆっくりとした時間の流れの中で、環境を受け入れ、家族を大切に自然体で生活してゆく姿勢に感動し、自分のものさしで考えて行動することの課題も改めて考えさせられています。毎日楽しく、そして刺激的な生活を続けさせていただく中で、ご縁があって知り合ったこの国と関わり続けたいと思っています。



国際協力論

徳島大学で「国際協力論」がスタートしました。今年度は助成金はなく、徳島大学総合科学部の饗場教授が中心となり、TICO は授業運営や講師派遣での協力をしています。ODA、NGO の現場で活動する人を講師として迎え（手弁当で）活動の背景を直に聞くことができる授業で、多角的な国際協力のアプローチと現状を知ることができます。この授業がひとつのきっかけとなり、国際協力の道に進んだ人もおり、今年は国連の現場で活躍する卒業生も講師として協力してくれました。

国際協力に直接関わらずとも、活動を理解する人を育てること、社会の課題を知ること、身近な課題の解決にも取り組める人を育てることが重要だと考えています。



TICO YOUTH

私たち TICO YOUTH は、「学ぶ・広げる・動く」をモットーに、国際について考えたり活動したりしている、国際ボランティア学生団体です。普段は週1回のミーティングをしていて、毎年5月と11月にある大学祭にも出店しています。今年から TICO YOUTH としては、カンボジアに支援することに決めたものの、こういった形で関わっていくかはまだ決まっていないので、これから話し合いを重ねていこうと考えています。また、メンバーがやりたいことがあれば、発案したことを実現していける団体にもしようと考えています。応援よろしくをお願いします。



メンバー募集中！



エシカルひろば

3月10日、高松市牟礼町で「エシカルひろば」を TICO 主催で開催しました。雨で寒い中、参加して下さった皆様、ありがとうございました！

障がい者自立支援団体の皆さん、着物のリメイク作品を作っているグループ、えさ作りからこだわって平飼いで育てたたまごを販売する若い夫婦など素敵な方々と美味しいものたちがいっぱい。英会話教室や野菜照明のワークショップなども大好評でした！

団体間の交流の機会にもなり、TICO の目指す「よりよい社会のためのきっかけや場を創る」というミッションにぴったりな企画でした。また、この様なイベントを開催していきたいと思います。



持続可能な Social Business へ

代表 吉田 修

TICO は、これまで支援事業ばかりに力を注ぎ、活動のための収益事業をあまり行うことが出来ませんでした。皆様のおかげで様々な事業を展開することができました。しかし、このままでは限界を感じております。

その1：TICO の財政状況 会費と寄付金だけでは海外で一つのプロジェクトを実行するにも足りません。結局、JICA などの委託事業による資金や助成金頼りの体質から抜け出せません。

その2：持続可能性 事業を行うに当たって常に念頭に置いていることですが、TICO の活動終了後もその事業が相手国側で継続されて行くのか？どんな事業にも経費が必要です。支援先だけでお金を回せる方法を考えなければなりません。

その3：自己発展性 本当によい事業なら自律的に発展拡大していくはずですが。例えば、携帯電話事業はあっという間にアフリカの隅々まで行き渡りました。

TICO の事業ではそうはなりません。私益ではなく公益的な支援であるからこそその難しさがあるかもしれません。

その4：スタッフの待遇 まさにボランティア・スピリットに頼りっぱなしで、若い頃のステップとして数年がんばっても、ライフワークとして家族を持って関わることは不可能です。

その5：良い雇用を創出してない

これらを克服するためには、収益を上げながら活動する団体への脱皮が必要です。ただし出資者のための収益事業ではなく、社会問題解決を目的としたビジネスを展開し、収益を上げながら継続的に課題解決に取り組む Social Business 事業です。

ザンビアでは、医療（予防や健診も含む）・農業・物流・教育（人材育成）・エネルギーなどの分野で、課題はたくさんあります。しっかりと調査研究をして何かを始めたいと思います。

ご支援ありがとうございます

TICO の国際協力活動は、皆様からの寄付金や会費によって支えられています。2018年12月1日～2019年5月31日の期間に会費納入、ご寄付下さった方々です。（順不同、敬称略）

■会費納入者

工藤瑠沙香、杉本尊史、寺口カミコ、武市秀男、松田俊太郎、山本秀樹、古川彩香、近森憲助、石渡翔子、曾我部仁史、横山永子、原口紀代子、十枝めぐみ、TICO ユース

— 毎年7月は、年会費更新月です。納入をお願いいたします!! —

■寄付者

吉田修、横山永子、高松聖ヤコブ教会 婦人会、武岡サヨ子、原田恵子、ヒラシマヤスシ・サトコ、曾我部仁史、青井洋明、IFMSA-AVP 有志、吉野川市立森山小学校、西 愛正、松村武史、副島光江、武田耕作、ヒラオカ薬局、川原尚行、原田恵子、美郷の湯

TICO の活動を応援してください！

TICO の会員

会員となって資金面からも TICO の活動をサポートして下さる方を募集しています。会員の方には、TICO ニュースレター“Face to Face”を毎月お送りいたします。

ご寄付

皆様からのご寄付は、支援活動、団体の運営を継続するための大きな支えです。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

| | 賛助会員 | 正会員 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 年会費 | 個人 12,000 円 | 12,000 円 |
| | 学生 6,000 円 | ※通常は賛助会員でのご入会をお願いしています。総会での議決権を持つ正会員を希望される方は事前にご連絡下さい。 |
| | 団体 15,000 円 | |
| ご入会方法 | ■ホームページから 1.ご入会フォームにお名前等をご入力ください。 2.お支払い方法の選択 クレジットカード継続決済とゆうちょ銀行自動引き落としのいずれかを選択し、手続きに進んでください。 | |
| | ■インターネットをご利用でない方 年会費を郵便局備え付けの郵便振替用紙で、次の口座へお支払い下さい。ご住所・ご氏名（フリガナ）・お電話番号を通信欄にお書き添下さい。 口座番号 01640-6-37649 加入者名 TICO | |

| | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 郵便振替 | <input type="checkbox"/> 口座番号 01640-6-37649 <input type="checkbox"/> 加入者名 TICO |
| 銀行振込 | <input type="checkbox"/> 口座番号 楽天銀行 <input type="checkbox"/> 支店名 第一営業支店（支店番号251） <input type="checkbox"/> 口座種類 普通 <input type="checkbox"/> 口座番号 7657541 <input type="checkbox"/> 口座名義 特定非営利活動法人 TICO ※カナ入力の場合は、(トクヒ) テイコ |
| クレジットカード | ホームページをご覧ください。 |
| 募金箱 | さくら診療所（徳島県吉野川市）に常設しています。 |
| インターネット | TICO ウェブサイトのバナー広告をクリックして、そこからお買い物していただくと、代金の一部が寄付されます。詳しくはホームページをご覧ください。 |
| 書き損じハガキ | ご自宅に年賀状の書き損じ、余り等ございましたら、是非事務局までお送りください。 |

特定非営利活動法人 TICO 事務局

〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川 120-4

電話：0883-42-2271（平日 9:00～17:00）

メール：info@tico.or.jp

ホームページ：www.tico.or.jp

フェイスブック：www.facebook.com/ticohq

ブログ：blog.goo.ne.jp/tico_blog

TICO

